

02年3月期決算説明資料

2002.5.10

2002年3月期決算概要

損益計算書(対象期間:2001年4月10日～2002年3月31日)

(単位未満は切り捨て表示)

経常収益	1,906百万円
経常費用	14,074百万円
経常利益	12,168百万円
法人税・住民税・事業税	13百万円
当期利益	12,181百万円

役務取引等収支	1,519百万円
資金運用収支	9百万円
その他業務収支	-
業務粗利益	1,509百万円
経費等	12,575百万円
業務純益	11,066百万円
臨時費用等	1,102百万円



(ご参考) 中間決算発表時の通期業績予想

経常収益	2,600百万円
経常利益	13,200百万円
当期利益	13,200百万円

財務状況

貸借対照表 (2002年3月31日)

(単位未満は切り捨て表示)

(百万円)

	現金	56,015	預金(個人)	5,192	
			預金(法人)	30,297	
	預け金	31,015	譲渡性預金	40,000	
	有価証券	16,602	資本金	61,000	株主資本 48,833
	仮払金等	13,527	欠損金	12,181	
	ソフトウェア	9,462	評価差額金	14	
動産不動産	867				総負債 78,639
貸倒引当金	18				
	総資産	127,472			
			その他負債	3,124	
			賞与引当金	25	

自己資本比率(国内基準)

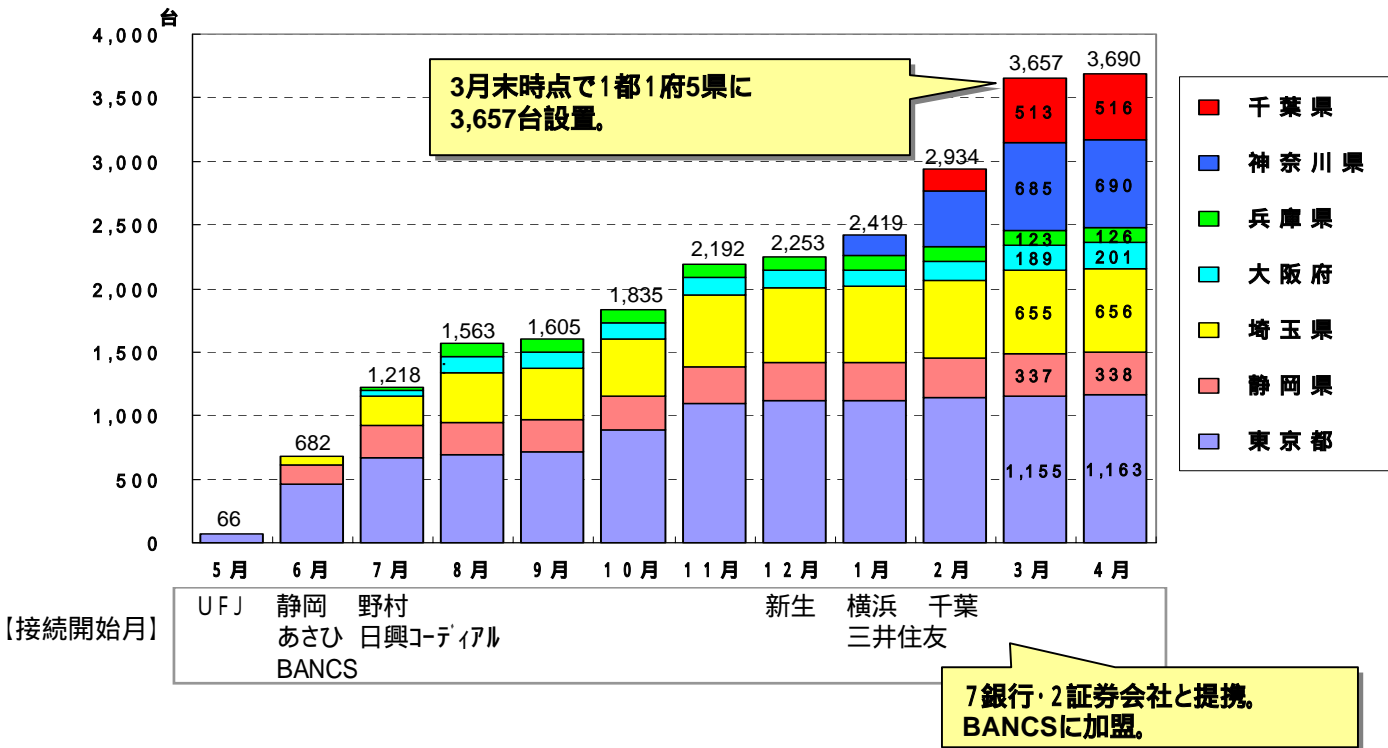
300.94%

(速報ベース)

ATM事業の着実な伸び

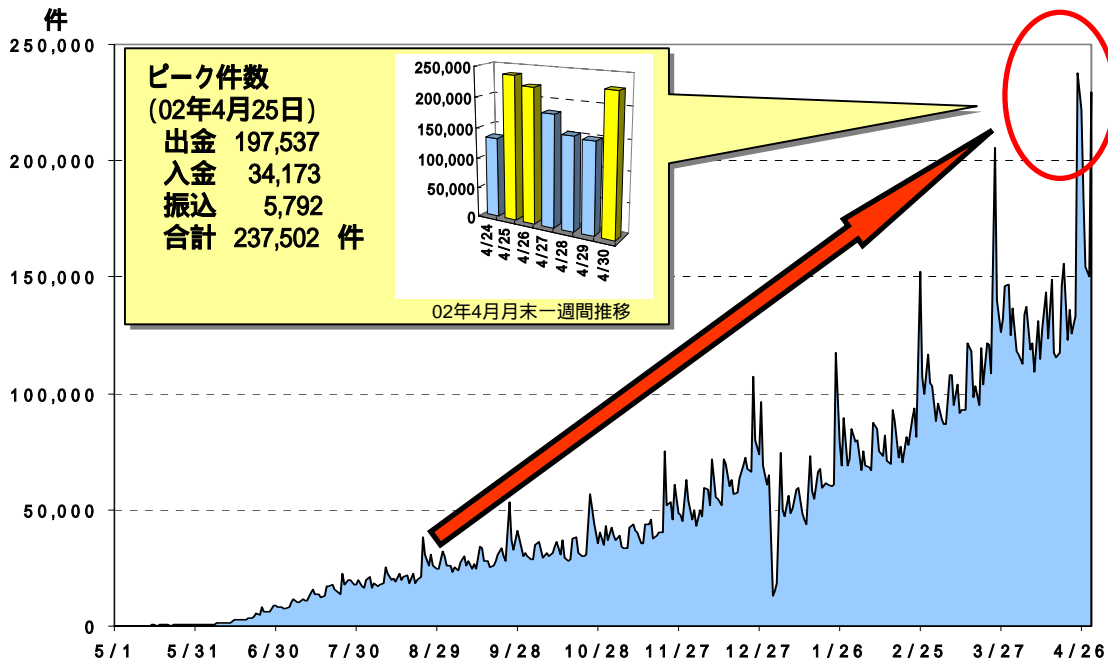
ATM設置の展開地域・提携金融機関は拡大。お客様のご利用も順調に推移している。

開業後02年4月迄の設置台数・提携開始推移



開業後02年4月迄の1日あたりご利用件数推移

(入金・出金・振込件数計。残高照会は含まず)



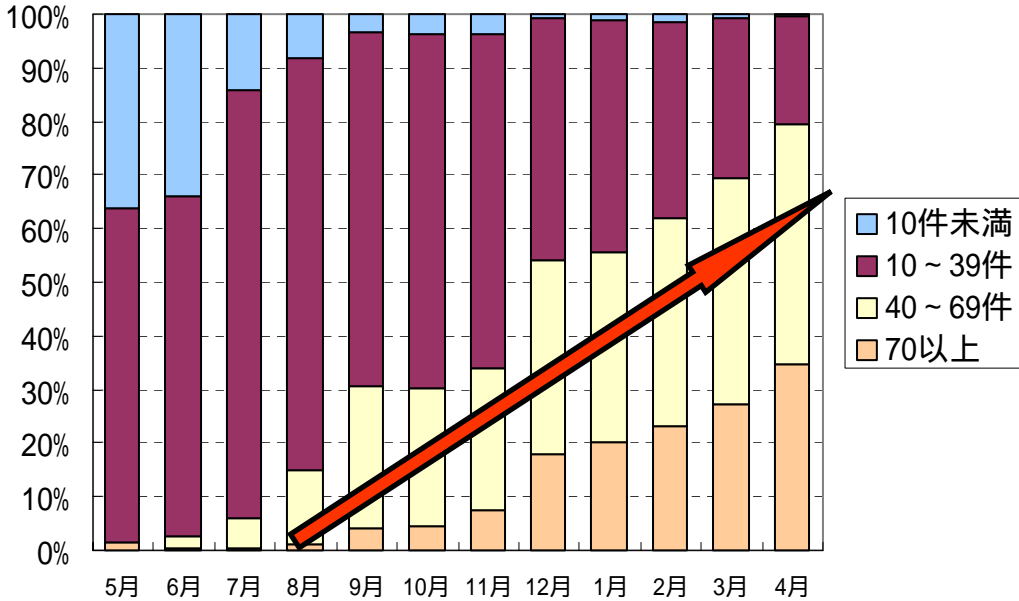
ATMの稼動状況(その1)

1台あたり利用件数は、設置台数増加の中、着実に増加。

給料日における利用件数別ATM台数比率(月別)

(入金・出金・振込件数計。残高照会は含まず)
 基本的には25日
 (25日が休日の場合はその直前の銀行営業日)

給料日の利用により当社ATMを理解 通常時の利用

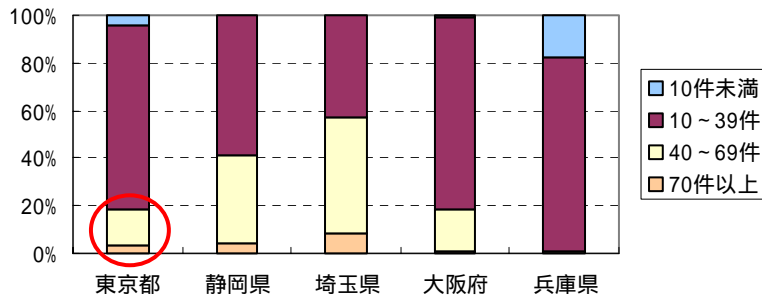


給料日における利用件数別ATM台数比率(地域別)

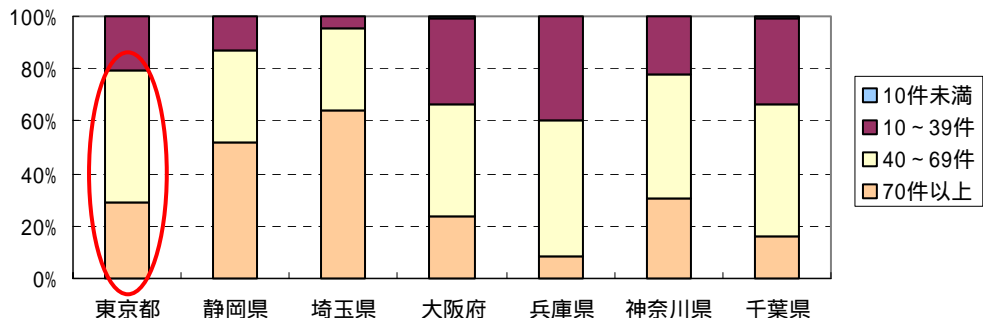
(入金・出金・振込件数計。残高照会は含まず)

- ・半年間で多くのATMがピーク時の件数を大幅に伸ばしている。
- ・新規設置地域(神奈川県・千葉県)の伸びが速い。

01年9月



02年4月

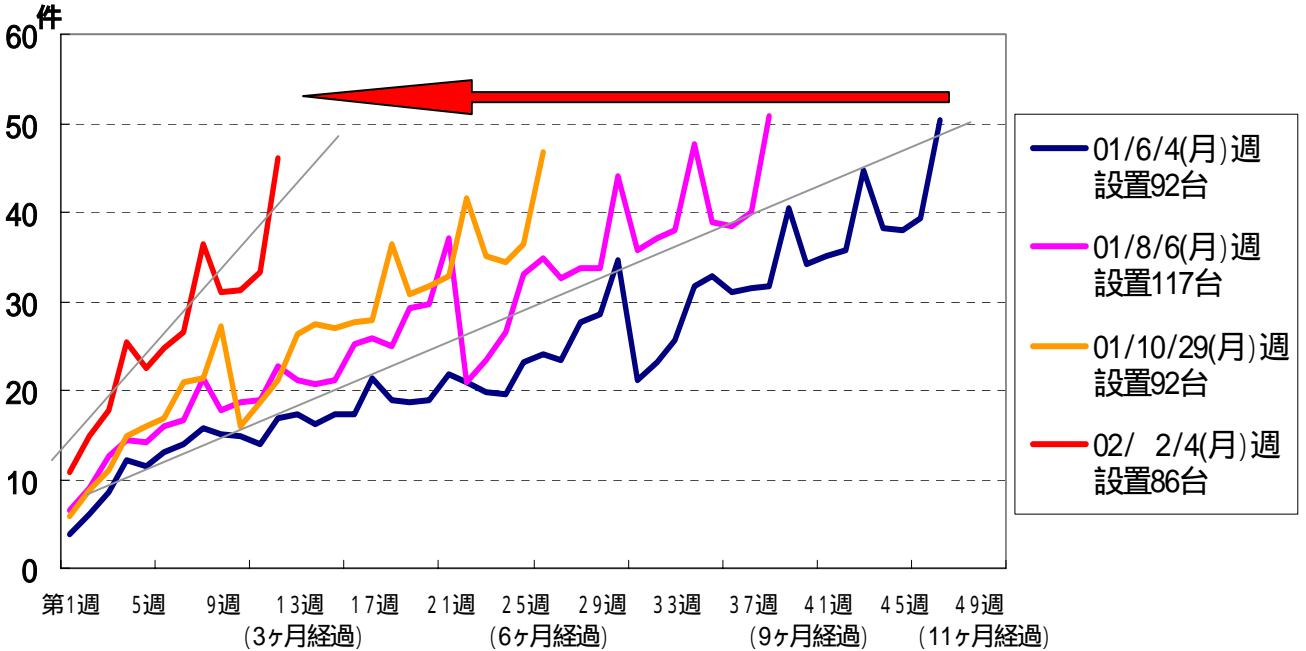


ATMの稼動状況(その2)

設置時期別週平均一日あたり利用件数推移

(入金・出金・振込件数計、残高照会は含まず)

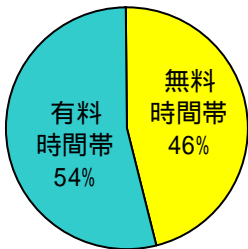
開業当初に比べ、後発で設置したATMの利用件数の伸びが顕著
 - 認知度の上昇、提携金融機関の増加



ご参考

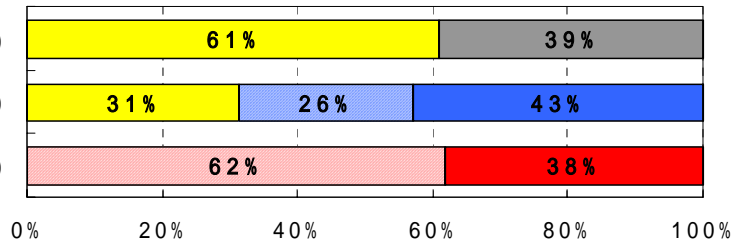
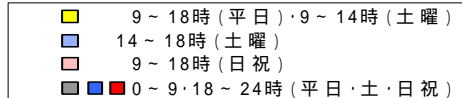
【ご利用件数内訳(3・4月実績。提携銀行分、残高照会除く)】

2ヶ月間の有料・無料
時間帯別 件数内訳

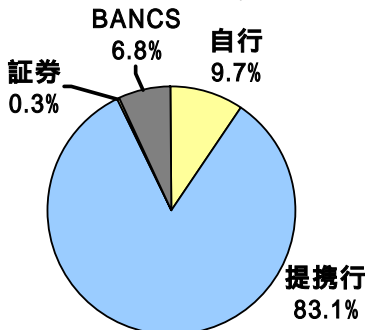


2ヶ月間の平日・土・日祝別
件数内訳(61日間)

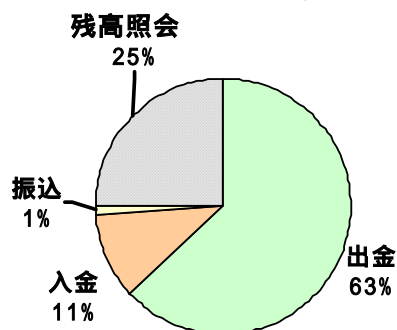
平日 (41日)
土曜 (9日)
日・祝日 (11日)



【提携先別 ご利用件数内訳(3・4月平均)】



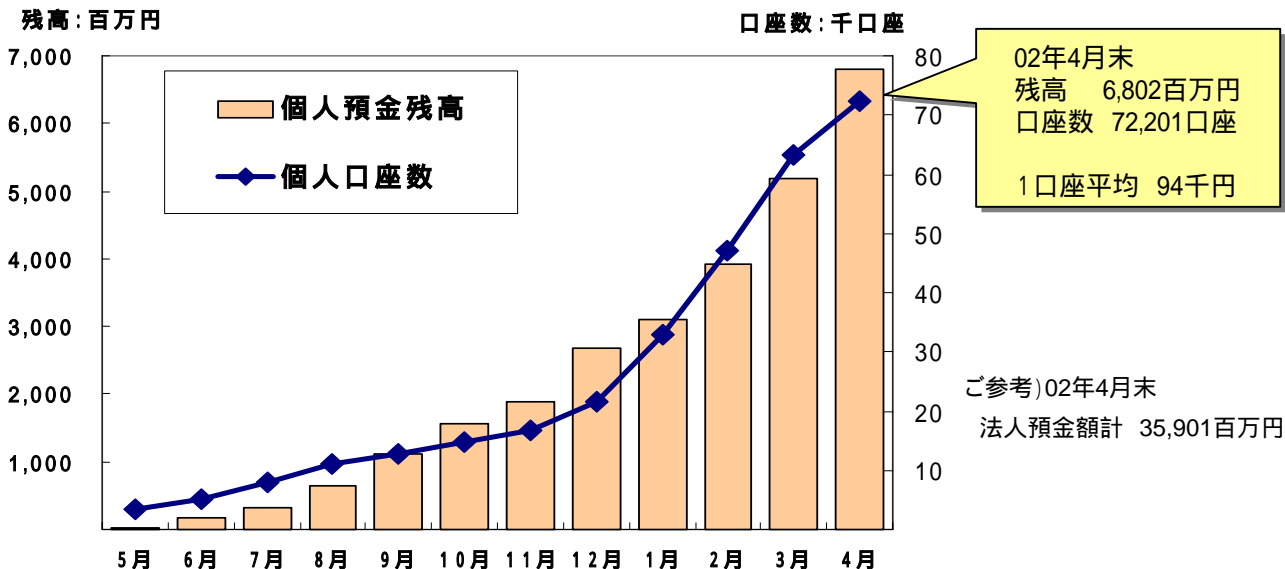
【サービス別 ご利用件数内訳(3・4月平均)】



預金口座の状況

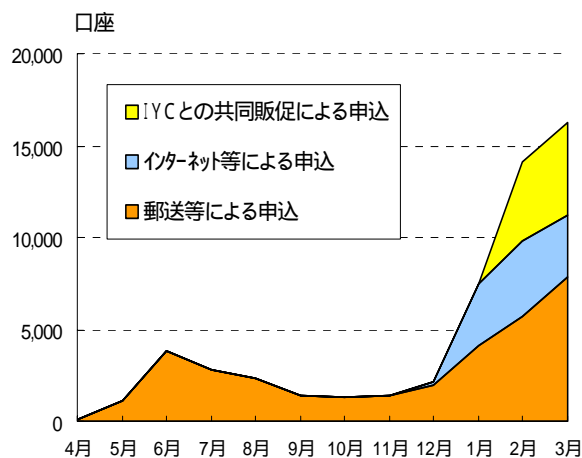
ATM設置地域の拡大に加え、ネットバンキングの開始等により口座数は拡大。

普通預金(個人)口座推移

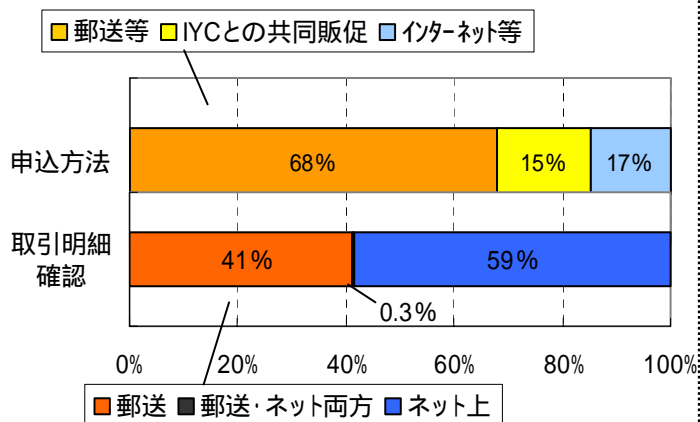


ご参考

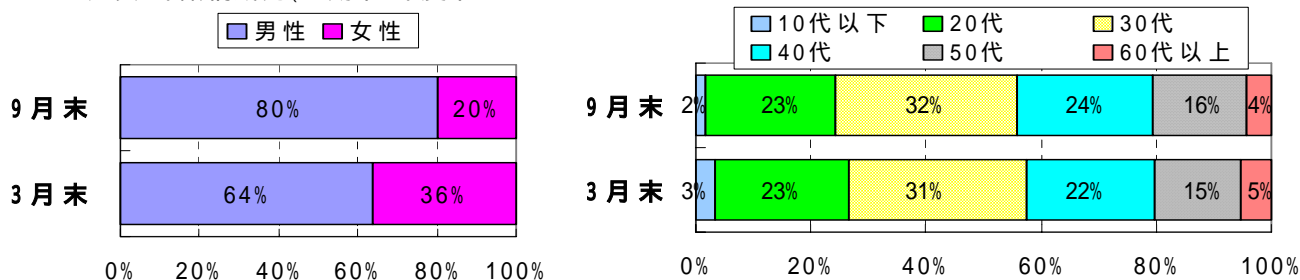
【チャンネル別新規口座開設数推移(個人)】



【申込チャンネルと取引明細確認方法分布】



【男女・年齢構成比(上期末・年度末)】



02年度の位置付け

01年度は創業年度として必要なインフラを整備

- 基本的な事業インフラは整備
 - ATM設置 3,657台(東京都・埼玉県・神奈川県・千葉県・静岡県・大阪府・兵庫県)
 - ATMネットワークを機能させる体制(保守管理等)
 - 普通預金口座、ネットバンキング、口座振替
 - セブン-イレブン向け売上金入金等金融サービスの提供
 - 企業組織・銀行要件の整備(含む資本充実、リスク管理等)
- お客様からの認知・評価の獲得
 - ATM利用総件数は着実に増加
 - 普通預金口座数の増加

ただし、事業展開は当初想定よりも遅延

金融機関提携のずれ込み等

- システム接続に必要な期間が想定比長期化
- 銀行再編等による金融機関側の事情
- 依然厳しい経済状況



ATM設置展開の遅れ、利用件数の下振れ

収支とも下振れ



02年度: 収益構造の確立

ATM利用の促進
ターゲットを絞った地域展開
金融サービスの拡充



03年度: 単年度黒字化

ATM事業の黒字化
金融サービス事業の収益化

今後の展開(ATM事業)

早期黒字化に向けた取組みの推進

ATM利用の促進

- より多くのお客様に利便性を提供するための提携
【銀行】
 - ・ 東京三菱銀行、首都圏地方銀行など【生保・クレジット・信販・消費者金融】
 - ・ アイワイカードサービス、JCB、三井住友カード、UCカード(02年5月)他
- 認知度・理解度向上のための取り組み
 - ・ イトヨーカードグループや提携先と連携した広告宣伝活動
 - ・ ATM周りでの取り組みの強化

ターゲットを絞った地域展開

- 北関東、東北、九州などへの新規設置 / 地方銀行との提携
 - ・ 5月 栃木県設置開始(足利銀行接続開始) 等



02年度

約1,500台 新規設置



02年度末

5,000台規模へ

今後の展開(金融サービス事業)

03年度収益化に向けた新サービスの検討と着手

個人向け金融サービス

- 口座振替サービス
 - 提携クレジットカードの口座振替
 - 電話等公共料金の口座振替
- ローンサービス
 - 口座貸越等による個人ローン業務参入の検討
- イトヨーカードグループと連携したサービスの検討
 - デビットカード、ポイントカード、クレジットカード等の一体型カードの検討と着手

法人向け金融サービス

- 売上金入金サービス
 - セブン-イレブン売上金入金サービスのグループ外企業への提供